

**(1) 出題方針**

英語は例年どおり、長文二題(合計 150 点)と会話文一題(50 点)の構成(合計 200 点)で出題した。長文問題の本文は最近の雑誌、新聞、書籍などからの一部抜粋で、題材は多岐にわたる。特に理系や文系など各学部により異なる受験生層を意識した内容を選択していないが、広く一般的な受験生の学習・努力が成果となって表れる出題を意図した。本文は出典の著作権を遵守しているため原文通りとし、難易度が高すぎるとと思われる単語や成句、および専門的な用語や概念には注で説明を加え、内容に関する専門的な知識がなくても解答できるよう工夫した。

長文問題は一題が約 800~1100 語、二題の合計語数が 1800 語から 2000 語と、例年に比べるとやや分量が多くなっている。語数が多いものも、過年度の問題と難易度が大きく異ならないよう、また各日程の問題の難易度もできるだけ均一となるよう設問を工夫した。長文問題は、語彙や構文などに関する知識や読解力を問う問題に加え、前置詞や接続詞の空所補充問題、および問題によってはセクションの見出しに関する問題、単語・句・文を意味・内容が近いものへの置き換え問題、整序英作文問題、本文の意味・内容に合致する文を選択する正誤問題、および英文和訳問題を出題した。これらの設問については、過年度の出題形式を踏襲している。空所補充問題および置き換え問題は、文脈に照らして最も適切なものを選択するものが多く、正解を選択するには熟読が必要となる。整序英作文問題では文法や構文の理解力が問われる。セクションの見出しを空所に補充する問題では、文脈に沿った読解力や話題の転換に気づく力が求められる。正誤問題では、本文の意味・内容に合致するか否かの根拠が本文中に示されているため、問題文と本文の関係、論理構成や展開を正しく把握して読み進める力が求められる。

会話文の語数は 600 語(550~680 語)程度と、こちらも例年と比較してやや分量を多くした。設定された場面や登場人物の人間関係を把握し、会話の流れを正確に理解することが求められる。また、英語の自然な会話に慣れているかも正解を導き出すために重要となる。会話文からは和文英訳問題を出題した。

**(2) 解答状況および解説**

前置詞、接続詞などの空所補充問題の平均得点率は例年通り高くなっている。語彙問題および置き換え問題は、語彙の知識のみで解答可能がものに比べて、文脈から判断することが必要なものは、得点率が低くなる傾向があった。置き換え問題は、選択肢から答えを安易に類推するのではなく、本文と照らして適切な置き換えを選ぶ力が要求される。

整序英作文問題は、文法能力、構文理解能力、語彙力などを問う問題となっている。語彙力、文法の知識に加え、英語の使用に慣れている受験生は、選択肢を眺めるだけで自然な英語を構成することができるようになる。日頃から、多くの機会に英語に触れているかどうかということも重要になる。

内容一致問題は、概ね本文の流れに沿って順番に設けられているが、その部分だけでなく本文全体の要旨や論旨の展開を把握していなければ誤った解答をしてしまう問題もある。長文二題の最後の方にある内容一致問題の読解には時間がかかるため、内容一致問題を念頭に長文を読み進める訓練が有効かもしれない。

会話文問題については、今年度はやや分量も多く、日程によっては馴染みのない題材が扱われているものもあったため、平均的が低くなっている。会話文問題は受験生の平均と合格者の平均の差が一番大きくなっているセクションでもあった。日頃から自然な英語使用に親しんでいるかどうか、合否を分けた可能性も考えられる。英文和訳問題と和文英訳問題の受験生全体の平均得点率は日程による顕著な差は見られなかった。英文和訳の訳出にはいくつかの方法があるが、部分的には訳出てきていても、全体として意味をなさない日本語訳も散見

された。また、和文英訳の問題は、会話の文脈の中での正確な理解力と自然で平素な英語表現能力が求められる。

### (3) 受験生へのメッセージ

上記のように、本学の英語入試では、主として長文の論旨や論理的構造を正確に把握しながら、著者の主張を正しく把握する能力、的確な語彙選択、および構文による訳出の能力があるかどうかを問う。本学での語学教育や教養教育ではその能力を基に思考力の涵養とコミュニケーション能力の養成に力を注ぐため、その基盤が入学前に培われているかどうかと問われていると考えていただきたい。

以下に受験準備のアドバイスをいくつか挙げておく。

- ① 長文問題の読解には多くの集中力と持続力が必要となる。日頃の授業を大切にする。
- ② 過去の入試問題に取り組み、語彙、構文力を培いながら読解力や訳出力を伸ばす。
- ③ 長文問題の本文は、最近の雑誌、新聞、書籍などから抜粋し、多岐にわたる。普段から 時事問題や話題のトピックにも関心を持つようにする。
- ④ 長文を読む際には、段落のつながりと著者の主張を意識して読む。段落の冒頭の主題となる文(トピックセンテンス(topic sentence)/キーセンテンス(key sentence)といわれる文)で文意を把握し、段落ごとの関係を意識して読む。
- ⑤ 長文問題の熟読に時間を要するかもしれないため、最後の会話問題については短時間で文脈に沿った正しい解答を選べるよう、日頃から英語の会話表現に慣れておく。
- ⑥ 訳す際のポイントとしては、単語の選択や構文(例えば、和文英訳であれば、従属接続詞、動名詞、不定詞を用いるなど)のバリエーションがあるが、的確な選択によって自然な訳出を行う必要がある。英語で作文をする習慣をつける。
- ⑦ 会話文から出題される和文英訳では、スペルや時制でのミスは減点の対象となる。そのため、語彙は日頃から書いて覚える。試験ではケアレスミスをしないよう注意する。

入試問題は容易ではないが、英文を通して知る世界には未知なる世界や知識が広がっている。入学試験はさらに広がる世界への登竜門である。未来への扉を開くために、コツコツと日々努力してほしい。

◆英語◆ 出題の意図

101	出題の意図
[ I ]	<p>本出題文は、The Conversation に掲載された文章で、昆虫を食料とすることで、環境にかかる負荷を削減できることについて書かれた文章である。空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。</p>
[ II ]	<p>本出題文は、NIH News に掲載された文章で、睡眠の効果や、一般に信じられていることと科学的な知見との乖離について書かれた文章である。問題 II も基本的には問題 I と同様の意図で出題しており、空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。加えて、小見出しをつける問題は、長文の中での話題の転換に気づく能力を見た。</p>
[ III ]	<p>家族が定期的にオンラインでミーティングをする様子についての報告が、2人の会話で進行する内容である。空所に入る適切な文章を見つけるために、会話の流れの論理的構成がつかめているか、また英語の自然な会話にどれだけ親しんでいるかをはかることを意図した。また、和文英訳においては、オンラインではなく「直接会う」というような英語独特の言い回しが身につけているかを見ることを意図した。</p>
102	出題の意図
[ I ]	<p>本出題文は、The Guardian に掲載された文章で、家族が共通の趣味をもつことにより、より親密になり絆を深めていくことができることについて書かれている。空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。</p>

[Ⅱ]	<p>本出題文は、ITDP, Institute for Transportation and Development Policy に掲載された記事で、COVID-19 によるパンデミック以降、急速に広まる自転車利用と、それに伴う課題について書かれた文章である。問題Ⅱも基本的には問題Ⅰと同様の意図で出題しており、空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることを意図した。</p>
[Ⅲ]	<p>出題文は、一人が鍼治療の経験について語りながら、友人に腰痛治療のオプションとして勧めている会話である。空所に入る適切な文章を見つけるために、会話の流れの論理的構成がつかめているか、また英語の自然な会話にどれだけ親しんでいるかをはかることを意図した。また、和文英訳においては、「～に聞こえる」というような英語独特の言い回しが身につけているかを見ることを意図した。</p>
103	<p><b>出題の意図</b></p>
[Ⅰ]	<p>本出題文は、The Washington Post に掲載された、高齢者ドライバーの問題と、運転を諦めさせることに伴い、社会がどのような対策を取ることが必要となるかについて書かれた記事をもとにしている。空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることを意図した。</p>
[Ⅱ]	<p>本出題文は、Anthropocene に掲載された文章で、合成生物学の進歩により、肉、牛乳、卵などの食品を人工的に作る技術が可能になってきていることを説明している。問題Ⅱも基本的には問題Ⅰと同様の意図で出題しており、空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることを意図した。</p>
[Ⅲ]	<p>二人のクラスメートが、一人が履修している映画の授業について話し合う会話である。空所に入る適切な文章を見つけるために、会話の流れの論理的構成がつかめているか、また英語の自然な会話にどれだけ親しんでいるかをはかることを意図した。また、和文英訳においては、「～されたものです」というような英語独特の言い回しが身につけているかを見ることを意図した。</p>

104	<b>出題の意図</b>
〔Ⅰ〕	<p>本出題文は、The Conversation に掲載された文章で、ミツバチがダンスのような動きをすることで、言語のような情報伝達をしていることや、その能力の生得性と、後天的な学習について述べている。空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。</p>
〔Ⅱ〕	<p>本出題文は、Scientific American に掲載された文章で、他人に親切にする行為と、それがもたらす幸福感について述べたものである。問題Ⅱも基本的には問題Ⅰと同様の意図で出題しており、空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。</p>
〔Ⅲ〕	<p>キャンプを計画し、準備のためにアウトドア用品の店を訪れた人と店員の会話である。空所に入る適切な文章を見つけるために、会話の流れの論理的構成がつかめているか、また英語の自然な会話にどれだけ親しんでいるかをはかることを意図した。また、和文英訳においては、前後に出てくる英語表現を理解し上手く利用しながら正しい文章を構成する能力がついているかを見ることを意図した。</p>
105	<b>出題の意図</b>
〔Ⅰ〕	<p>本出題文は、Monocle に掲載された文章で、電気自動車への切り替えを進め、2030年までに二酸化炭素を排出する自動車が無くそうとするアムステルダム取り組みについて書かれた文章である。空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。加えて、小見出しをつける問題は、長文の中での話題の転換に気づく能力を見た。</p>

〔Ⅱ〕	<p>出題文は、The Science に掲載された文章で、珊瑚が海水温の上昇を経験すると、その記憶を留める機能があり、将来のさらなる温度上昇に適応するメカニズムについて書かれている。問題Ⅱも基本的には問題Ⅰと同様の意図で出題しており、空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。</p>
〔Ⅲ〕	<p>二人がソーシャルメディアに写真を公開したり、ボイスメールを録音することに対してのそれぞれの意見を交換する会話である。空所に入る適切な文章を見つけるために、会話の流れの論理的構成がつかめているか、また英語の自然な会話にどれだけ親しんでいるかをはかることを意図した。また、和文英訳においては、前後に出てくる英語表現を理解し上手く利用しながら正しい文章を構成する能力がついているかを見ることを意図した。</p>
106	<p><b>出題の意図</b></p>
〔Ⅰ〕	<p>本出題文は、BBC Future に掲載された文章であり、建造物がその役割を果たした後、取り壊されると埋め立てにしか使用用途のなかった廃材をリサイクルすることについて書かれている。空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。</p>
〔Ⅱ〕	<p>本出題文は、Discover Magazine に掲載された文章で、これまで聴覚能力がないとされていたヘビが、実は身の回りの音を感知していることについて書かれている。問題Ⅱも基本的には問題Ⅰと同様の意図で出題しており、空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるかを問うた。</p>
〔Ⅲ〕	<p>郊外から都市部のアパートに引っ越してきた男性に隣人がさまざまな情報を与える様子を描いた会話である。空所に入る適切な文章を見つけるために、会話の流れの論理的構成がつかめているか、また英語の自然な会話にどれだけ親しんでいるかをはかることを意図した。また、和文英訳においては、「～ために仕事をしている」というような英語独特の言い回しが身につけているかを見ることを意図した。</p>

107	出題の意図
【Ⅰ】	<p>本出題文は、Reader's Digest に掲載された記事で、川や湖などの自然の水、あるいはプールや噴水など、都市にある水のいずれもが、人に癒し効果をもたらしていることについて書かれている。空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるとかを問うた。加えて、小見出しをつける問題は、長文の中での話題の転換に気づく能力を見た。</p>
【Ⅱ】	<p>本出題文は、BBC News に掲載された文章で、イギリスの博物館において、ビル建設やインフラ工事の際に掘り起こされた考古学的人工品を保管するスペースが無くなっていることについて書かれている。問題Ⅱも基本的には問題Ⅰと同様の意図で出題しており、空所補充では、文脈を理解して接続詞を選ぶ能力、句動詞や前置詞を含むイディオムの知識、基本的な英文法の知識を問うことを意図した。語彙問題と節・句の言い換え問題では語彙の知識の有無に加え、文脈から意味を推測する能力を問うことを意図している。整序英作文の問題では、語彙力、基本的な英文法の知識に加え、各々の該当箇所の前後の文脈を正しく理解し判断できるか、まとまりのある自然な英文の流れに親しめているかを見た。内容一致問題では、出題文の論旨を理解して本文の該当箇所と照らし合わせることができるとかを問うた。</p>
【Ⅲ】	<p>久しぶりに会った二人の友人が、京都観光を計画するにあたり情報交換をする会話である。空所に入る適切な文章を見つけるために、会話の流れの論理的構成がつかめているか、また英語の自然な会話にどれだけ親しんでいるかをはかることを意図した。また、和文英訳においては、「麺が流れ過ぎる間に」というような口語的言い回しを、どのように自然な英語で表現できるかを見ることを意図した。</p>